

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。木枯らしが吹きすさぶころとなりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

世界的に環境汚染が取り出されておりますが、

私達が排出して捨てたプラスチックゴミはやがて川から海へと至り波や紫外線の影響で細かく砕け5mm以下になり魚の体内へ入り私達の体内へ蓄積される。平均で1週間に1人5gが体内に取り入れているとの事。私達一人一人が真剣に考えなければ後世の子供たちに美しい地球は残せないと思います。小さな事、スーパーの袋を貰わない等の身近なことから始めることが大切だと考えます。

サンライズの物語

伝わる気持ち——

言葉の壁を超える物語



先日弊社の通所介護へ手伝いに行った時のこと・・・

認知機能が低下傾向にある方で意思の疎通もままならない方がいらっしゃり、何度話掛けても無言でした。機械浴で入浴後のこと・・・（着脱時も拒否がございましたが）「〇〇さん、気持ち良かった？」との職員の問いかけに「うん」と答えたのです。「え～！話ができるんだね」との問いに今度はケラケラと笑い出したのでした。私もびっくりして職員と二人で大喜びしたのです。「笑ってる。笑ってる」と二人で言いながら涙が零れてきました。

その職員の話で、先日もろうあ者の方が通所され小さい頃から手話も習っていないとの情報があり、ホワイトボードに「あなたの気持ちが知りたい」と職員が書くと、その方が次の日に自宅にある手話の本を持って来て話始めたとの事。

年を重ね認知機能が低下していたとしても、人間の気持ちを伝えるのに言葉はいらないと思いました。お一人お一人への接し方や介護職としての熱い気持ちさえあれば、どんな人にも気持ちは伝わり、その時に確信致しました。自宅では見られない素晴らしい表情を引き出し、その方のお気持ちに添えるような通所介護でありたいと考えます。

サンライズのデイサービス陽光だより

【管理者】村橋 孝昭

皆さまへ ご挨拶

いつもサンライズのデイサービス陽光をご利用頂き、誠にありがとうございます！！

この度、私『村橋孝昭』は2019年12月1日をもちまして、佐藤隆の後任として、サンライズのデイサービス陽光管理者に就任いたしました。

なにぶん若輩ではございますが、粉骨砕身支社業務に努力してまいり所存でございます。

好きな言葉は、おかわり自由です！

お客様と真摯に向き合い、楽しく・目的をもって日々運営してまいります。

開設から今までに積み上げてきた事業所良い所は継続し、全職員が更に一致団結し、今まで以上に質の高いサービスを提供していきたいと考えております。

つきましては、前任者同様よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。



介護に役立つ書籍紹介

身近な人の施設介護を考えるときに読む本

監：高室 成幸

本書は、いままさに身近な人の施設入所を考えている人から、いずれ施設入所を希望している人までを対象とした入門書です。本書の特徴は、第1に基本知識として複雑な介護保険制度を解説し、施設を選ぶ前に在宅介護でどこまで工夫できるか、がんばれるか、考え方の実践的なノウハウを示しました。



NEWS 今月のニュース

親子協力高齢女性を保護 滑川署が石垣さんに感謝状

道に迷っていた高齢女性を保護したとして、滑川署は五日、滑川市有金の介護士、石垣美保子さん（53）と息子の龍谷富山高校二年、大地さん（16）に感謝状を贈った。

署などによると、大地さんは先月二十四日午後七時半ごろ、部活動から帰宅途中、同市上梅沢の路上で八十代の女性から「ちょっと」と声を掛けられた。女性は「自宅までどう帰るかわからなく

なった」と尋ねてきたが、大地さんは「自分にはわからない」と言い、その場で別れた。しかし、辺りは暗くて女性の受け答えにも不安を抱いていたことから、大地さんは帰宅後、美保子さんに女性が路上で一人でいたことを報告。美保子さんは「道に迷っているのでは」と感じ、大地さんとともに女性がいた場所に戻って保護した。自宅まで送ろうとしたものの、女性は認知症の疑いがあり、住所も言えなかったことから、署に引き渡した。女性はその日のうちに親族が迎えにきて無事帰宅した。

署であった贈呈式では、豊田馨署長が「親子の見事な連携で救助ができた」と感謝状を渡した。美保子さんは「女性が無事でなにより」と安堵（あんど）し、大地さんは「家に帰って伝えていなかったら、見つかっていなかったと思う。伝えてよかった」と笑顔だった。



<中日新聞
2019年12月6日(金)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>